

LL11 & ML11 壁掛け金具 取扱説明書

-----LL11 は重量 68kg 以下、ML11 は重量 45kg 以下の薄型テレビの取り付けに適用 -----

この度は、LL11 又は ML11 の壁掛け金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
LL11 は 37 ～ 70V 型用、ML11 は 26 ～ 47V 型用の薄型テレビの取付用です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

フラットテレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。
壁の強度は少なくともフラットテレビの重量の 5 倍の強度に耐える場所が必要です。

警告



禁止

LL11 壁掛け金具は総重量 68kg 以下、又 ML11 は総重量 45kg 以下のプラズマ及び液晶等の薄型テレビを、木柱、又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。
これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには、絶対使用しないで下さい。
又、木柱やコンクリート以外の鉄骨製の壁面には取り付け出来ません。
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因となります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めて下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は 2 人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、子供のそばにこのような部品を置かないで下さい。
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですから子供を側に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損してないことを確認してください。
足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン株式会社に連絡して下さい。
破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



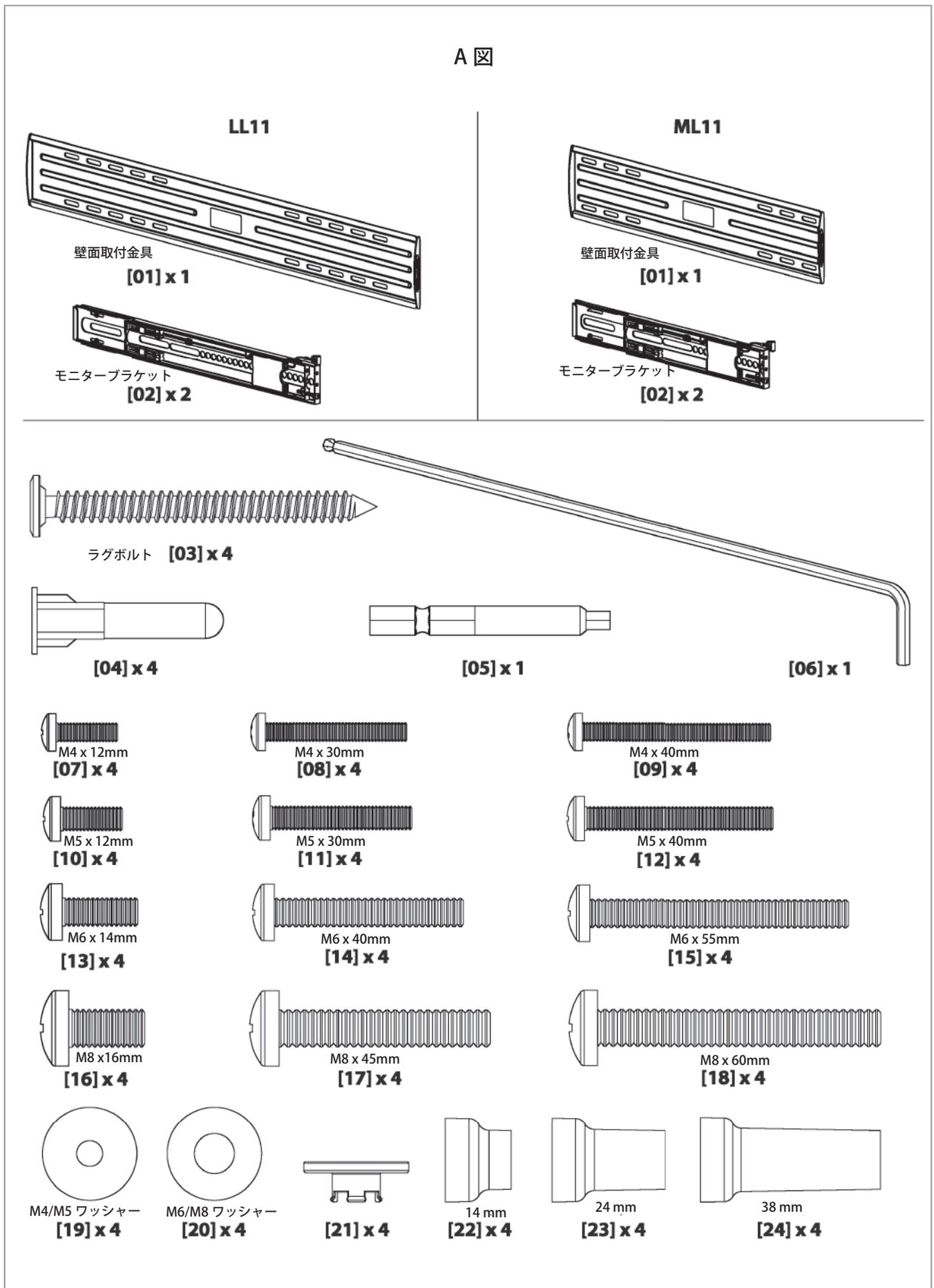
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して責任を負いません。

2. 部品一覧表

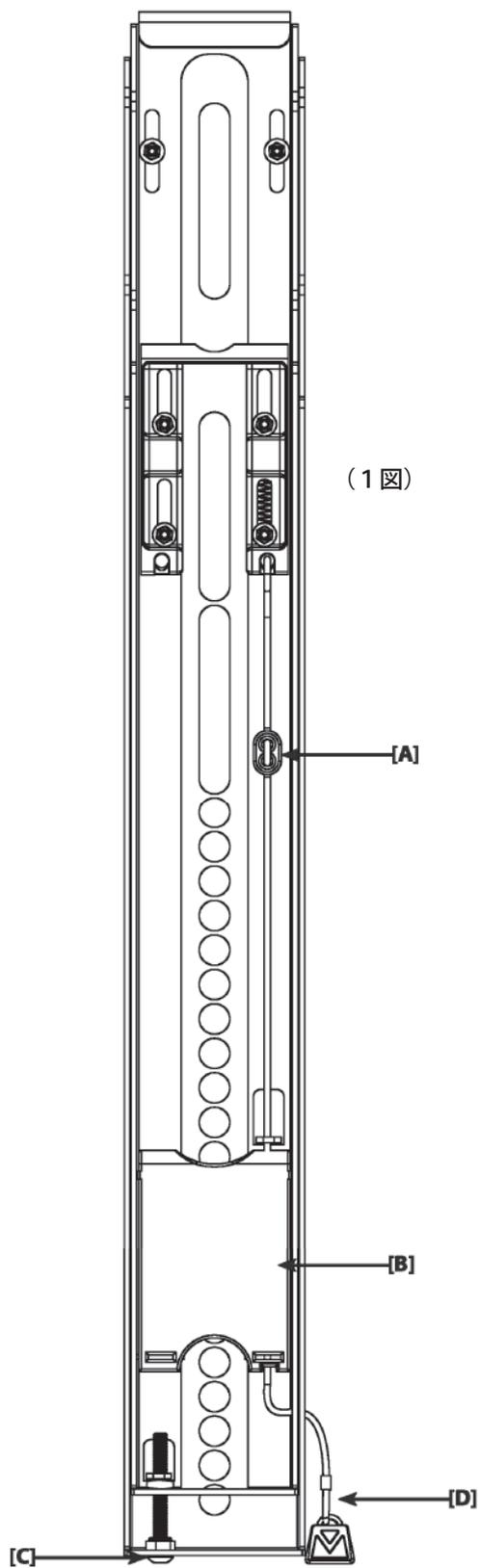
梱包を開梱し、組み立てる前に次のA図の部品の現品の形や数量を、確認しておいて下さい。



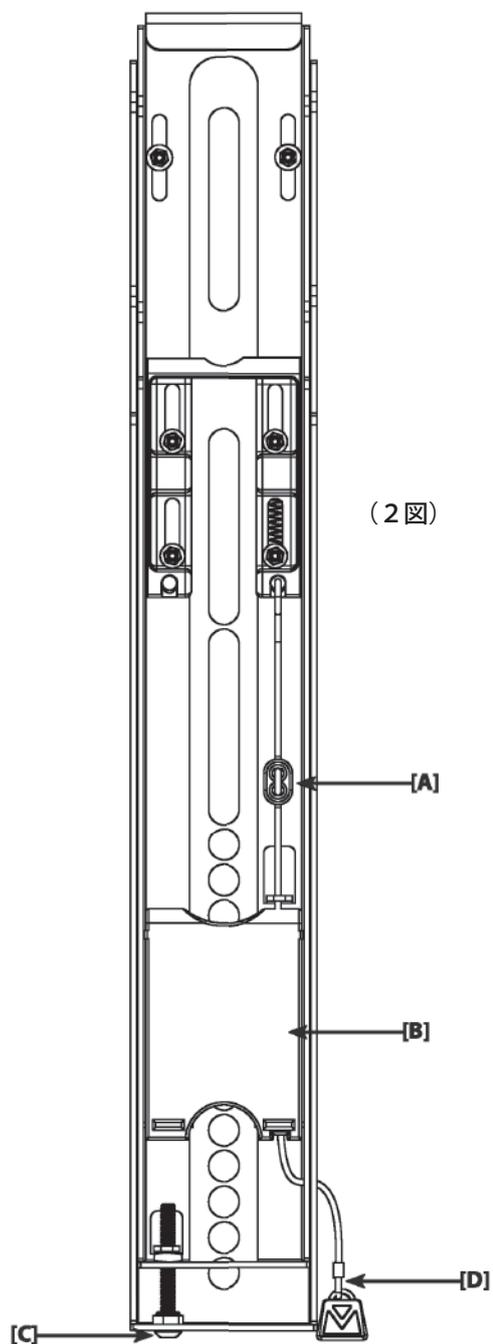
モニターブラケットの各部の名称と機能

- [A] コード長調整部
- [B] クリックスタンド click stand
- [C] 水平度調整ネジ proset
- [D] リリースコード

LL11



ML11



B ☒

3 組み立てかた

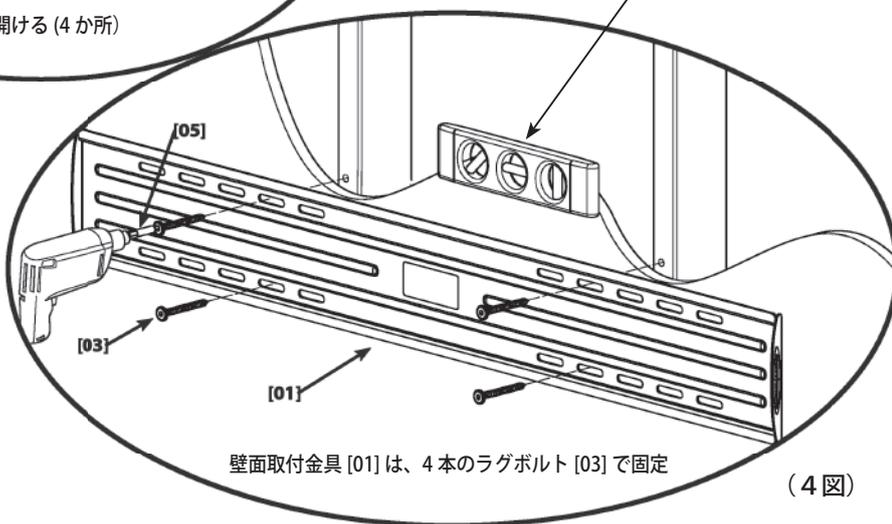
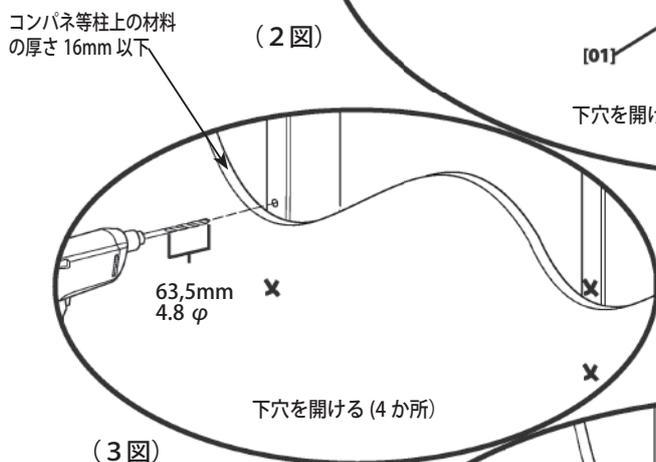
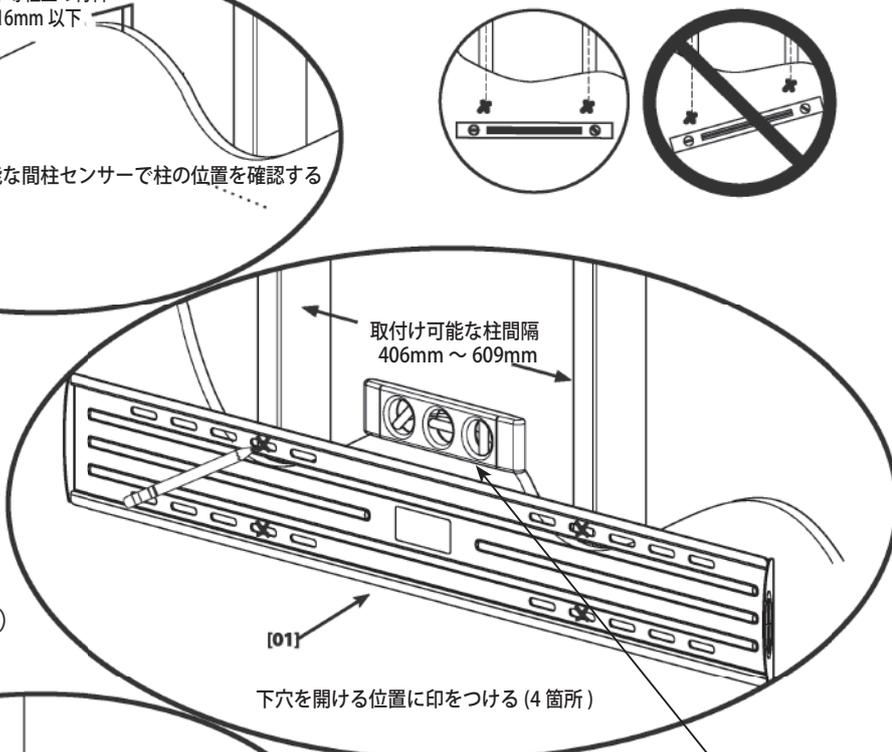
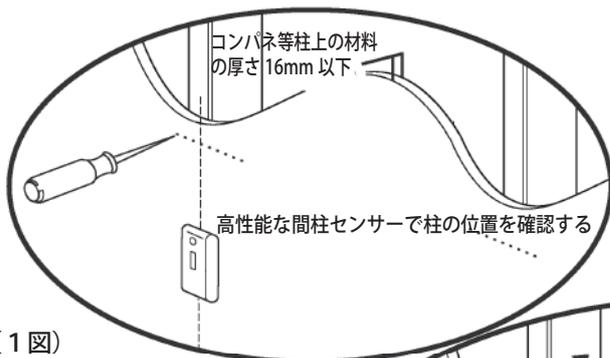
1 壁面取付金具の木柱の壁面への取り付け



壁面取付金具を取り付ける壁面は、LL11 では最大 68kg、又 ML11 では最大 45kg の薄型テレビの 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。

各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

- (1) C 図のように、壁面取付金具 [01] は、2 本の木柱の上に、4 本のラグボルト [03] で固定します。
- (2) ラグボルト [03] は、締め付けすぎないようにしてください。
ラグボルト [03] が、壁面取付金具にしっかりと取り付けられるまで締め付けて下さい。
- (3) 壁面の上を覆っている材料は、16mm 以下にしてください。 又、壁面取付金具は、コンセントの近傍の位置を避けてください。



2 壁面取付金具のコンクリート壁面への取り付け

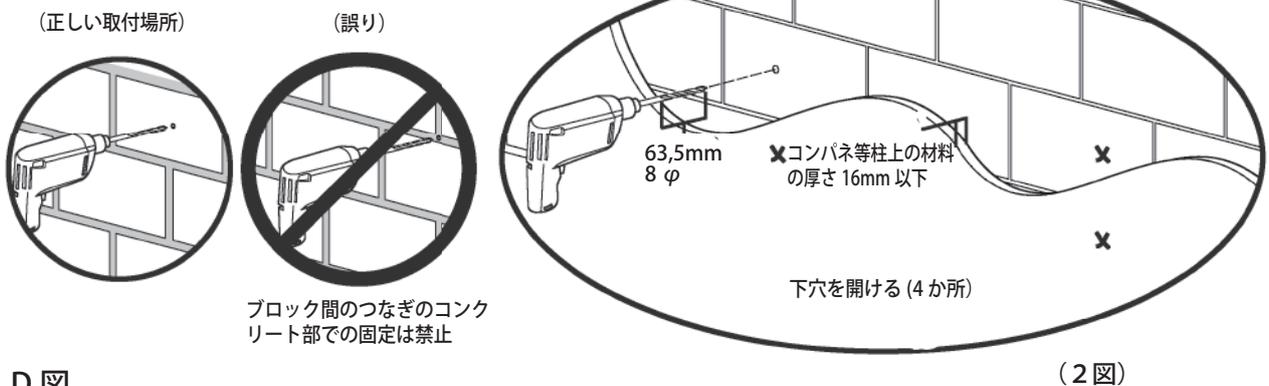
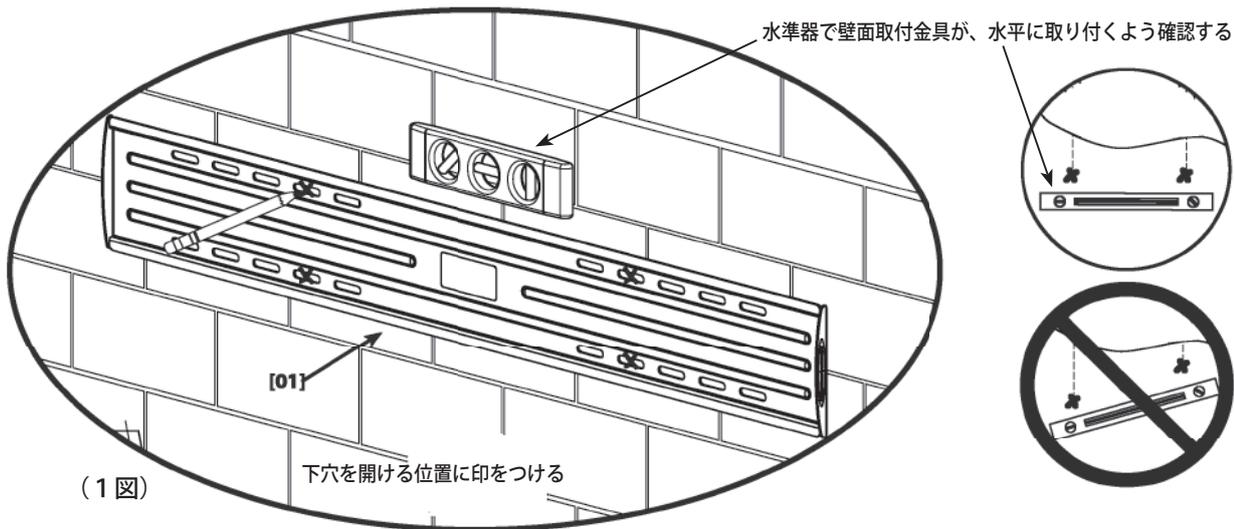


禁止

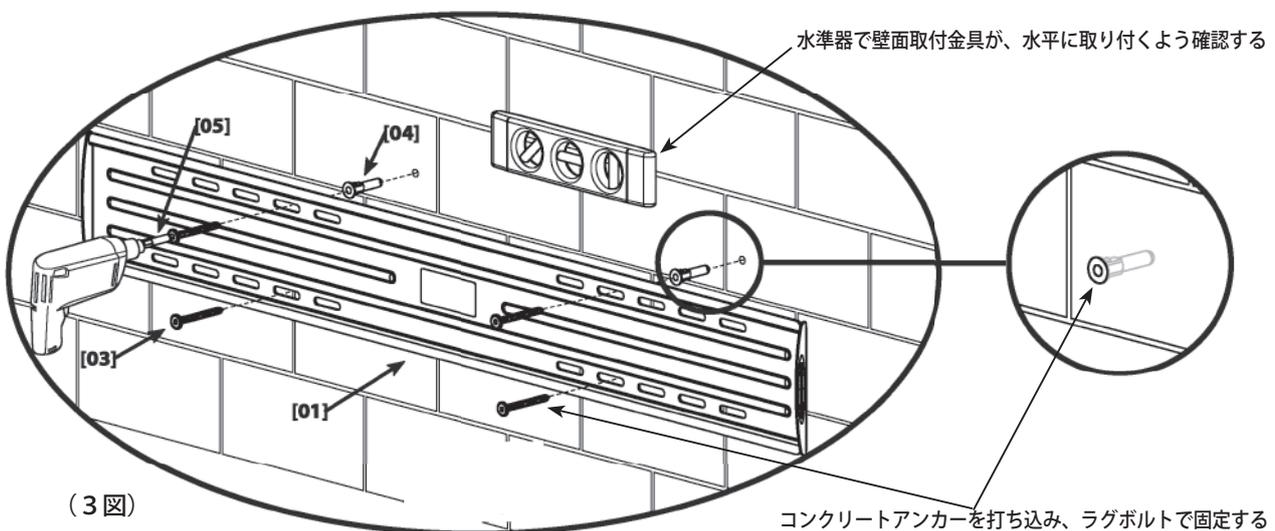
壁面取付金具を取り付ける壁面は、LL11 では最大 68kg、又 ML11 では最大 45kg の薄型テレビの 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。

各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。下記の「コンクリート壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

- (1) D 図のように、壁面取付金具 [01] は、4 本のコンクリートアンカー [04] と、4 本のラグボルト [03] で固定します。
- (2) 壁面取付金具を型紙代わりにして、壁面に 4 箇所の取付穴位置に印を付けます。(1 図)
なお、コンクリートブロック壁の場合は、ブロック上に取り付けます。
- (3) コンクリートアンカー [04] を打ち込むために、8φ、63.5mm の下穴を 4 箇所開けます。(2 図)
- (4) コンクリートアンカー [04] を打ち込んだ上に、取り付けるラグボルト [03] は、締め付けすぎないようにしてください。ラグボルト [03] が、壁面取付金具にしっかりと取り付けられるまで締め付けて下さい。
- (5) 壁面の上を覆っている材料は、16mm 以下にしてください。又、壁面取付金具は、コンセントの近傍の位置を避けてください。



D 図

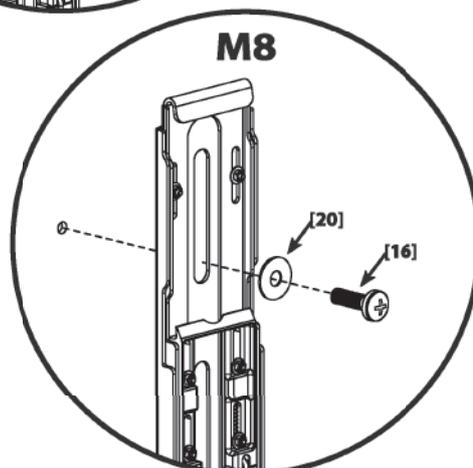
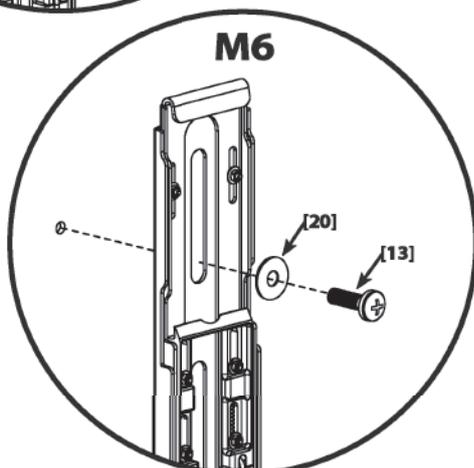
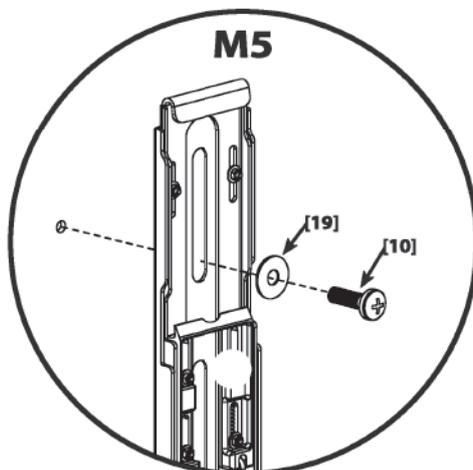
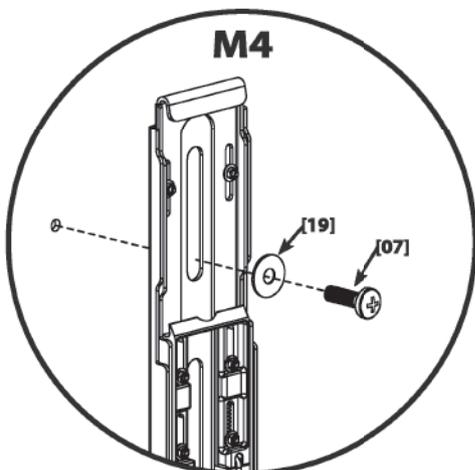
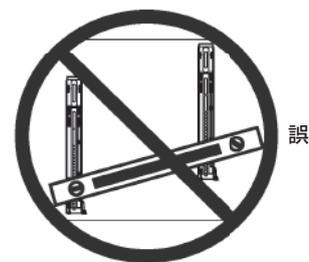
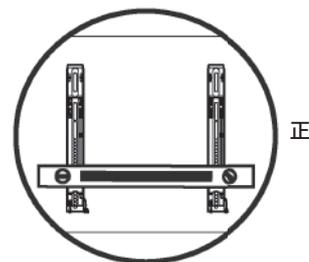
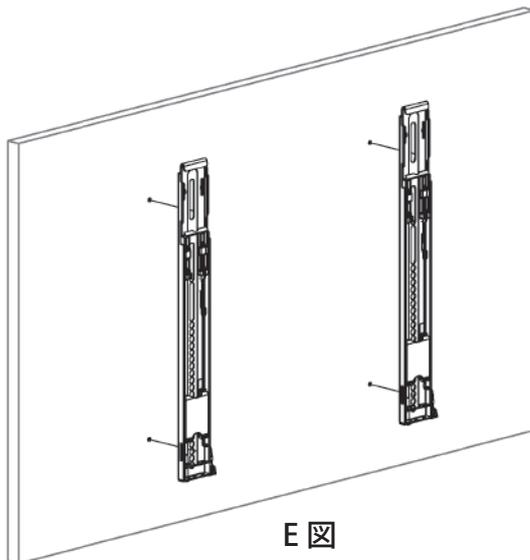


(6)

3 背面が平坦な薄型テレビへのブラケット取付

薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。

- (1) 薄型テレビを壁等のしっかりした場所で、且つテレビのガラス面にキズが付かない場所に置きます。
- (2) 薄型テレビの背面に取り付けるモニターブラケット [02] の位置と、その適合するネジ穴の口径を、手で緩くねじ込んで調べます。ネジ長が長すぎると、薄型テレビの内部の部品に接触し、破損する恐れがあるので、注意して下さい。
- (3) ネジ口径が M4 ネジの場合は M4 に、M5 ネジの場合は M5 に、M6 ネジの場合は M6 に、M8 ネジの場合は M8 の各々の図に示す、ネジ、ワッシャーを各々2コづつ使って、薄型テレビにモニターブラケットをしっかりと取り付けます。
- (4) もし、薄型テレビの背面が平坦でも、ケーブル類を通したり、部分的に窪みや突起物がある場合は、次項の4や5のようにスペーサーを使う方法を参照して下さい。
- (5) 二つのモニターブラケットは、薄型テレビの左右の中央で、水平に配置します。

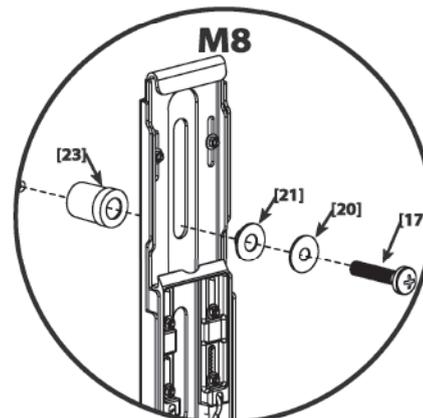
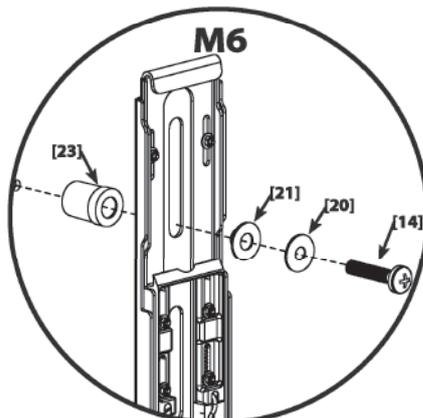
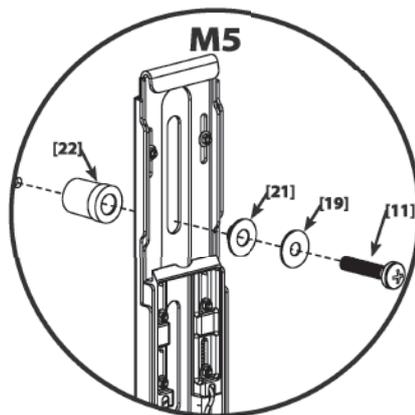
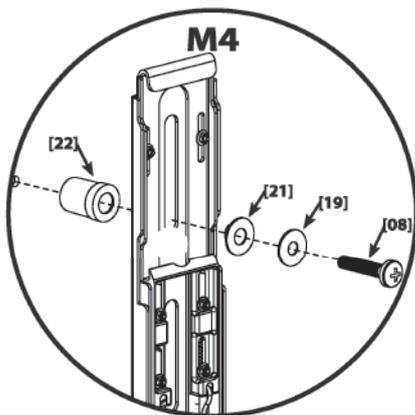
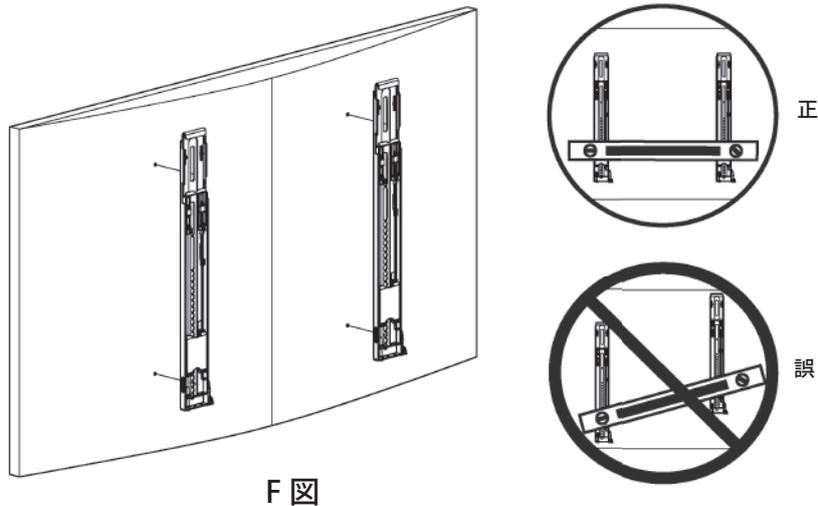


4 背面が曲がっていたり、障害物や窪みのある薄型テレビへのブラケット取付 ----- 「曲がり小さい場合」

- 注意：1. 薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。
 2. テレビ取り付けの障害にならず、背面の湾曲に対応するため、最小のネジとスペーサーを組み合わせて使用して下さい。使用するネジが長すぎる場合、テレビ内部の部品等を破損する恐れがあります。

背面の曲がり具合や障害物や窪みの比較的小さい場合は、下図の F 図に従って、短めのネジ及びスペーサーを使って取り付けます。
 背面の曲がり具合や障害物や窪みの比較的大きい場合は、9 ページの G 図に従って、長めのネジ及びスペーサーを使って取り付けます。

- (1) 薄型テレビを壁等のしっかりした場所で、且つテレビのガラス面にキズが付かない場所に置きます。
- (2) 薄型テレビの背面に取り付けるモニターブラケット [02] の位置と、その適合するネジ穴の口径を、手で緩くねじ込んで調べます。
- (3) ネジ口径が M4 ネジの場合は M4 に、M5 ネジの場合は M5 に、M6 ネジの場合は M6 に、M8 ネジの場合は M8 の各々の図に示す、ネジ、ワッシャー、及びスペーサーを各々 4 コづつ使って、薄型テレビにモニターブラケットをしっかりと取り付けます。
 ネジやスペーサーは、曲がり具合、障害物、窪みの量から判断して、最短の長さの物を使って下さい。
 長すぎると、薄型テレビの内部の部品に接触し、破損する恐れがあるので、注意して下さい。
- (4) 二つのモニターブラケットは、薄型テレビの左右の中央で、水平に配置します。

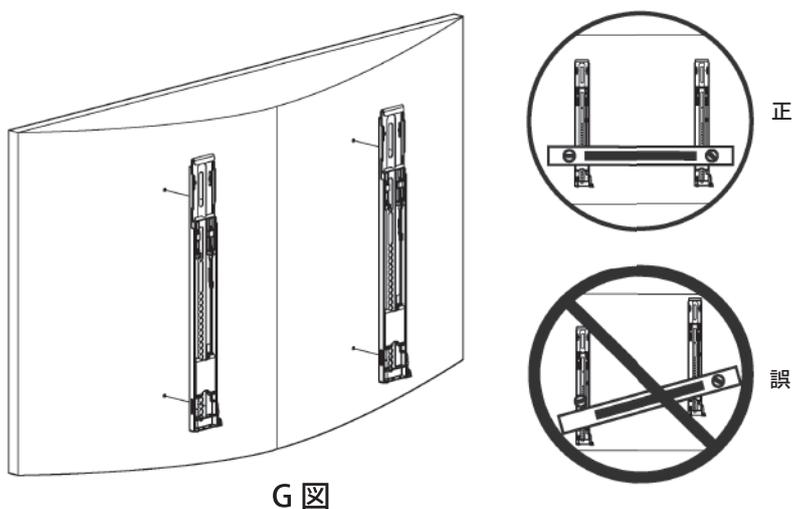


5 背面が曲がっていたり、障害物や窪みのある薄型テレビへのブラケット取付-----「曲がり大きい場合」

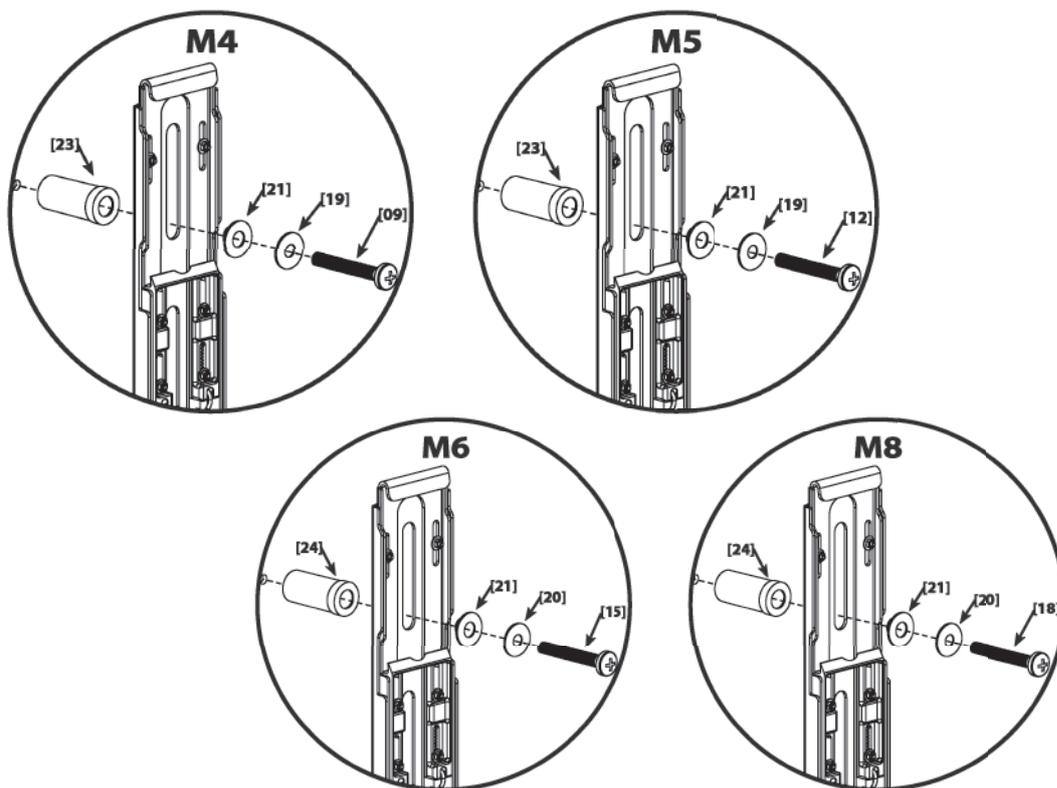
- 注意： 1. 薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。
 2. テレビ取り付けの障害にならず、背面の湾曲に対応するため、最小のネジとスペーサーを組み合わせて使用して下さい。使用するネジが長すぎる場合、テレビ内部の部品等を破損する恐れがあります。

背面の曲がり具合や障害物や窪みの比較的大きい場合は、下図の G 図に従って、長めのネジ及びスペーサーを使って取り付けます。
 背面の曲がり具合や障害物や窪みの比較的小さい場合は、8 ページの F 図に従って、短めのネジ及びスペーサーを使って取り付けます。

- (1) 薄型テレビを壁等のしっかりした場所で、且つテレビのガラス面にキズが付かない場所に置きます。
- (2) 薄型テレビの背面に取り付けるモニターブラケット [02] の位置と、その適合するネジ穴の口径を、手で緩くねじ込んで調べます。ネジ長が長すぎると、薄型テレビの内部の部品を破損する恐れがあるので、注意して下さい。
- (3) ネジ口径が M4 ネジの場合は M4 に、M5 ネジの場合は M5 に、M6 ネジの場合は M6 に、M8 ネジの場合は M8 の各々の図に示す、ネジ、ワッシャー、及びスペーサーを各々 4 個ずつ使って、薄型テレビにモニターブラケットをしっかりと取り付けます。ネジやスペーサーは、曲がり具合、障害物、窪みの量から判断して、最短の長さの物を使って下さい。長すぎると、薄型テレビの内部の部品に接触し、破損する恐れがあるので、注意して下さい。
- (4) 二つのモニターブラケットは、薄型テレビの左右の中央で、水平に配置します。

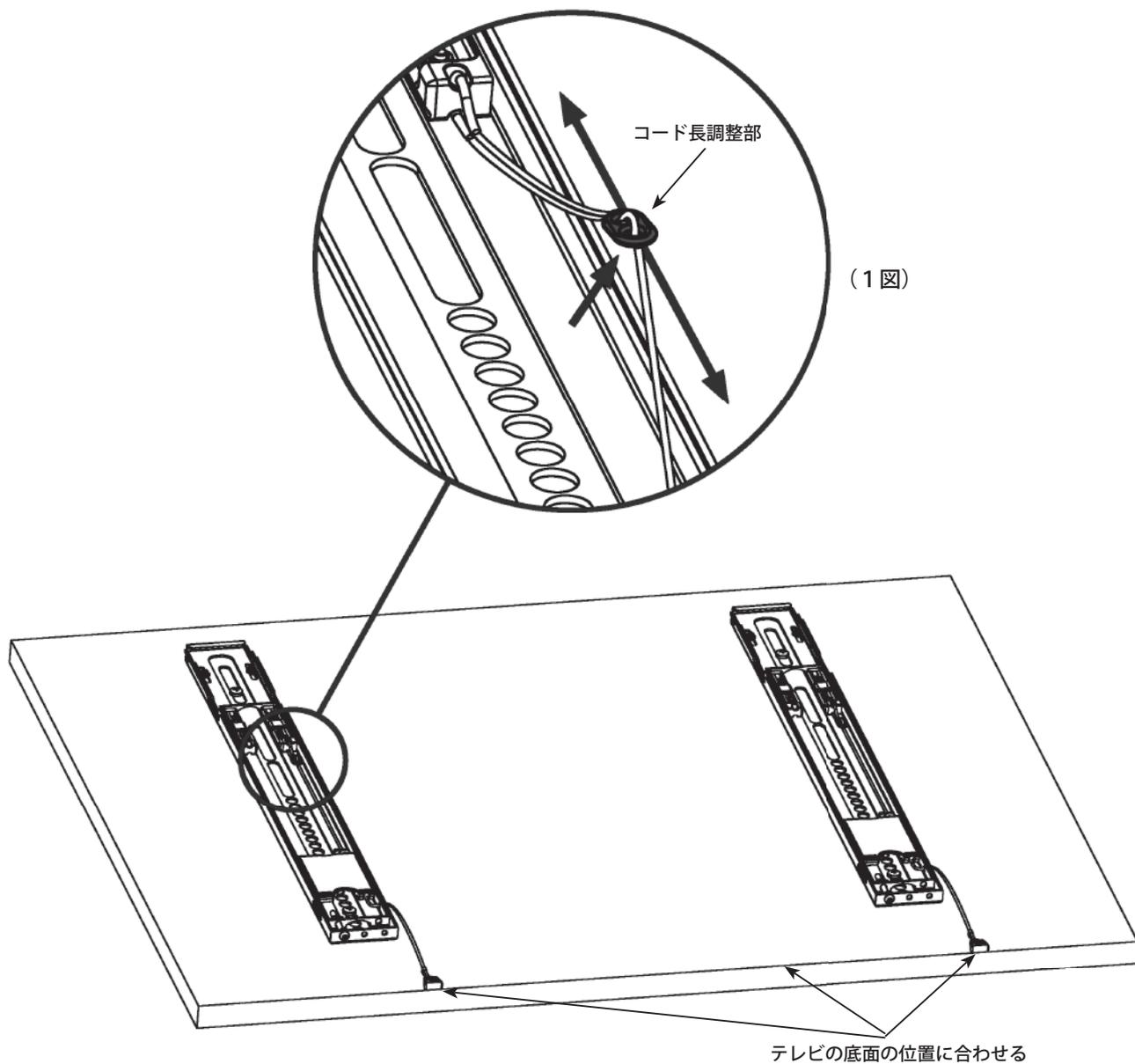


G 図

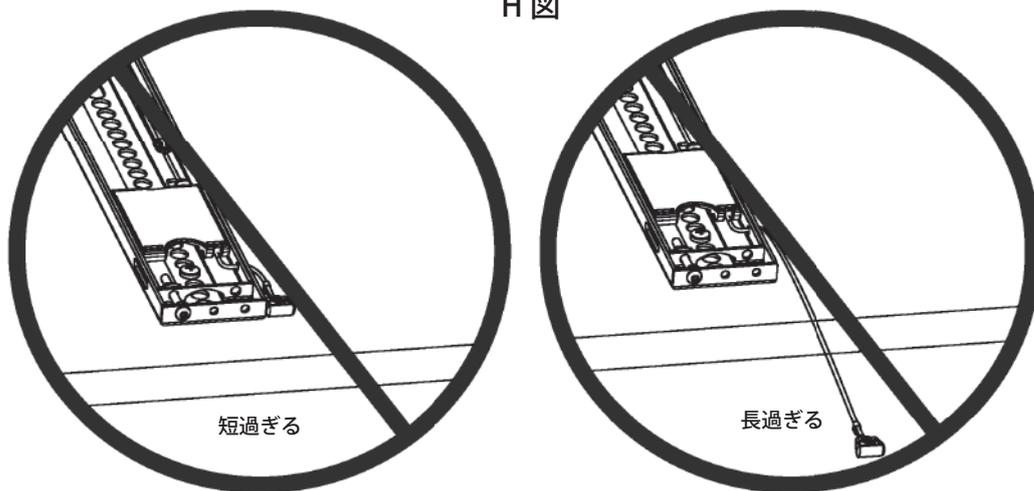


6 リリースコードの長さの調整

- (1) リリースコードの長さは、H図のように薄型テレビの底面の位置に合わせます。
調整箇所は、(1図) に示すコード長調整部で可変させて下さい。



H図

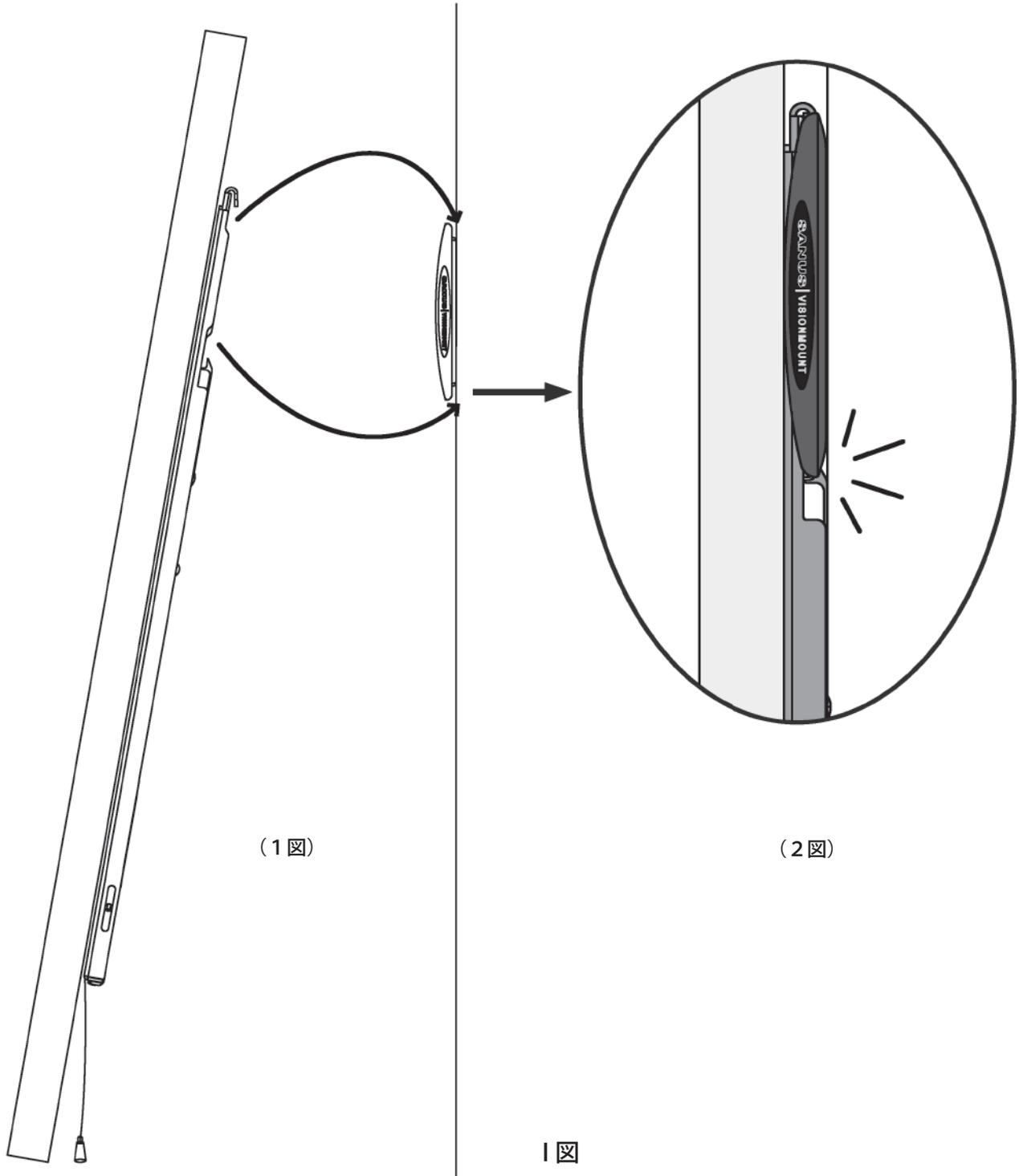


7 薄型テレビを壁面取付金具に取り付ける



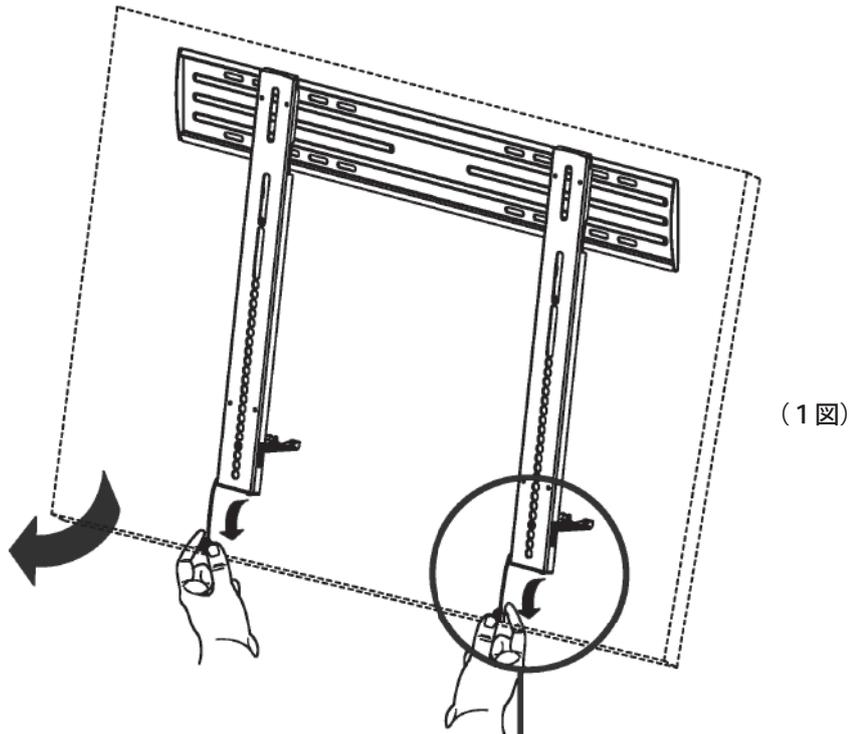
注意：この項の取り付け作業は、けがや財産の損傷の恐れがあるので必ず大人二人で行って下さい。

- (1) (1図) に示すように、薄型テレビに取り付けたモニターブラケット [02] の上部を、壁面取付金具 [01] に上から引っかける要領で取り付けます。
- (2) 次にモニターブラケットの下側を (2図) の矢印のように壁面取付金具に押しつけて取り付けます。
- (3) (2図) の詳細図は、取付状況を見やすい角度で示しています。



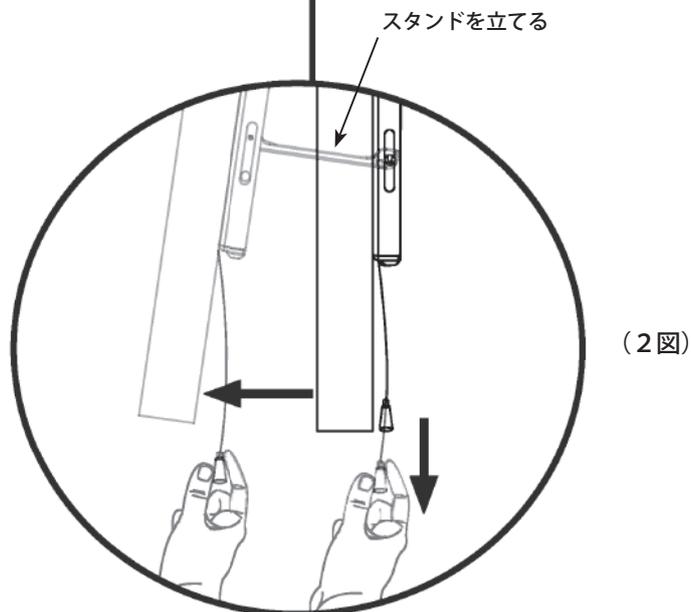
8 ケーブル類の管理 その1

- (1) 薄型テレビへの電源コードやアンテナケーブル類や、HDMI ケーブル等のオーディオ・ビデオケーブル類を接続する場合は、次の手順で作業して下さい。
- (2) (1 図) に示すように、モニターブラケットの最下部に取り付けてあるリリースコードを、下方向に引いてから、薄型テレビを矢印のように前面に傾けます。
- (3) (2 図) の右側はリリースコードを引く前と、引いた後の状態を示します。
- (4) リリースコードを引いて (2 図) の左側のように、モニターブラケットの裏側にあるスタンドを立ち上げて、壁面と薄型テレビの間に衝立の役目をさせ、空間を設けます。
- (5) この空間を活用して、ケーブル類の接続をして下さい。



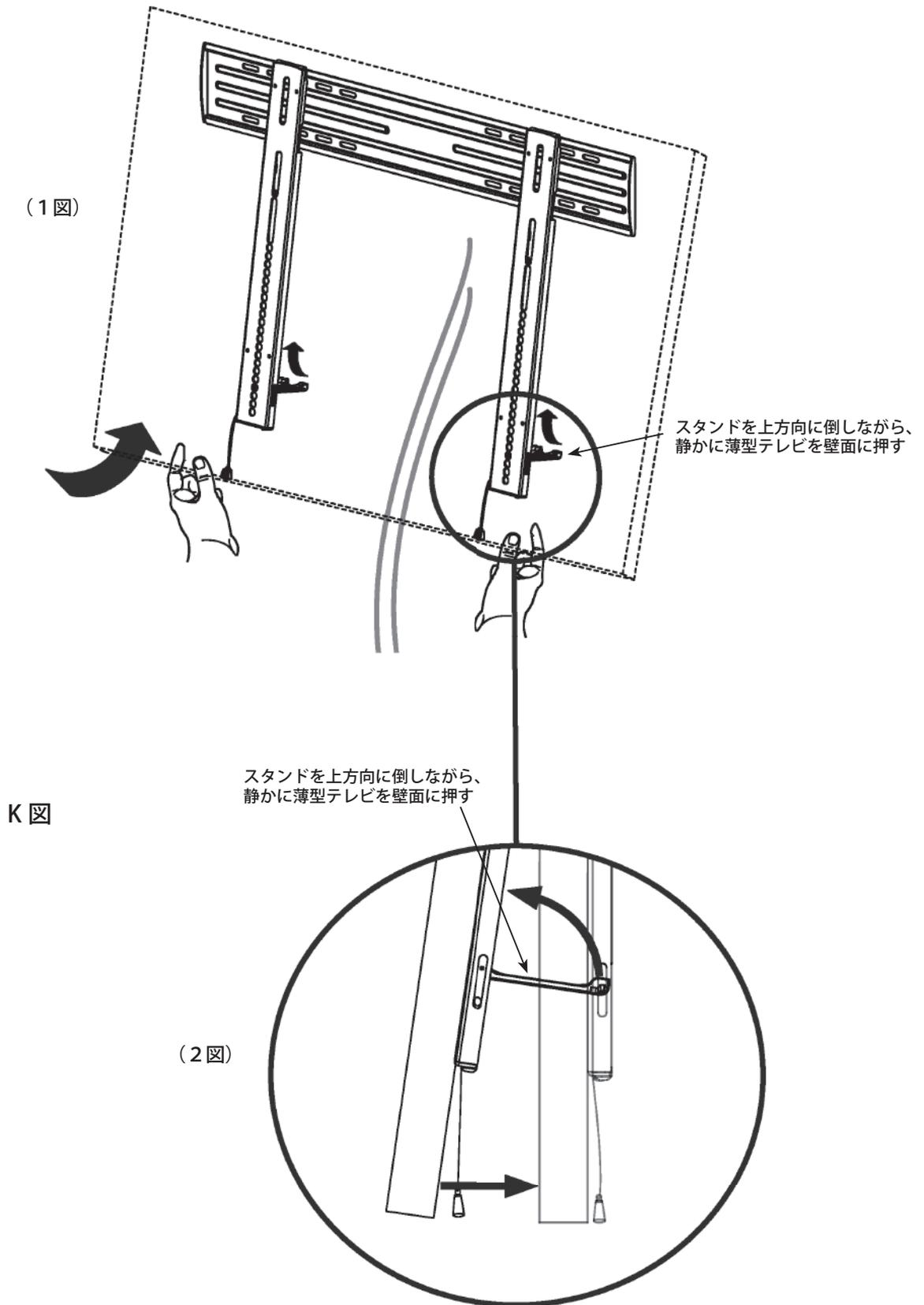
注意：スタンドが立ち上がった状態ではテレビは固定されていないので、不安定です。この工程は、二人で作業する事を推奨します。

J 図



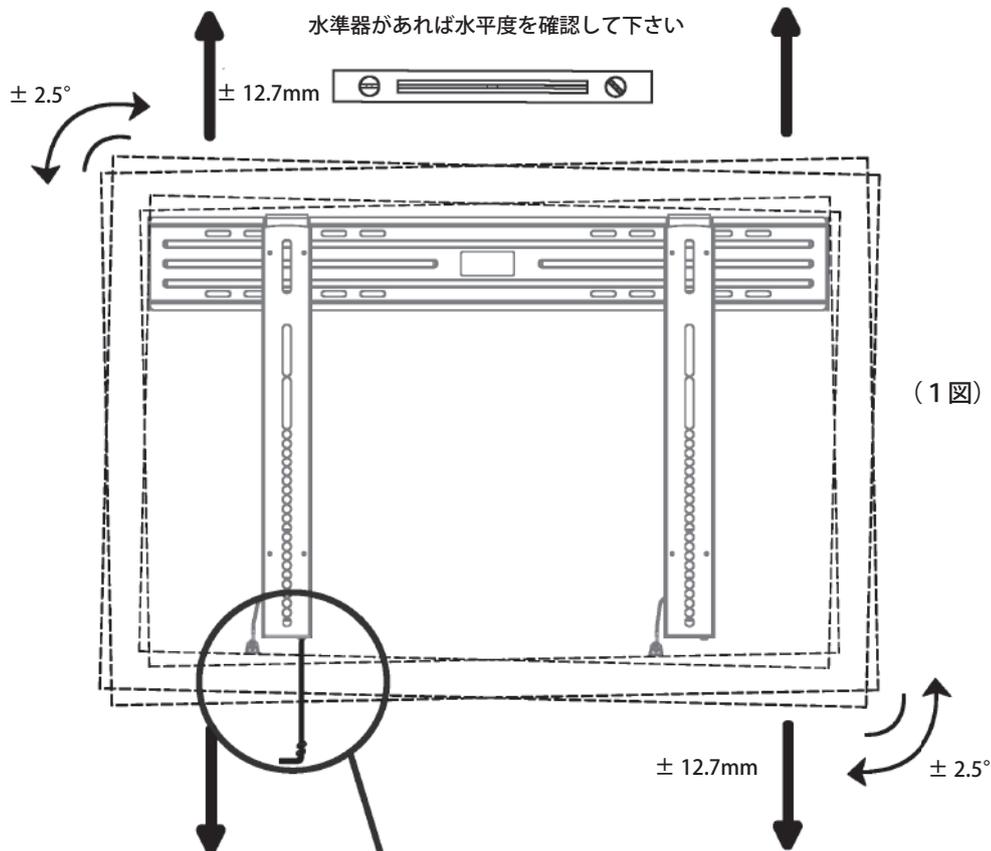
9 ケーブル類の管理 その2

(1) ケーブル類の接続が完了すれば、(1図)の薄型テレビを手で支えながら、(2図)の詳細図のように、スタンドを上方向に押しつけてから、薄型テレビを静かに壁面の方向に押しつけて固定します。

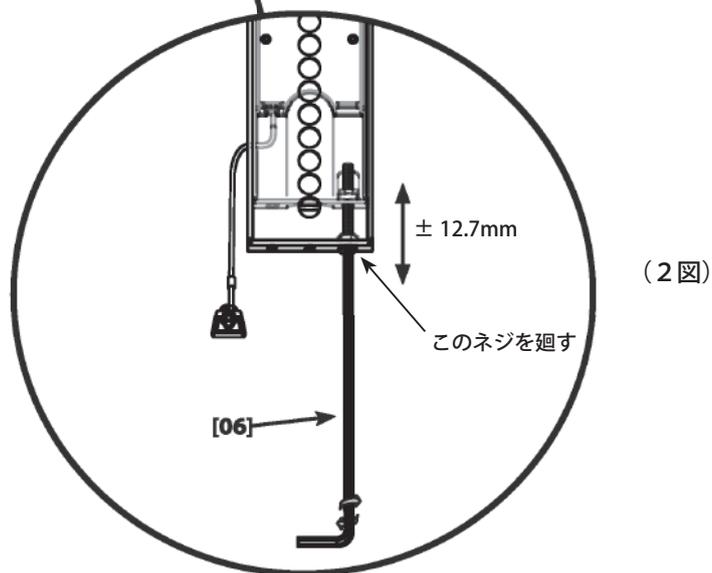


10 水平調整

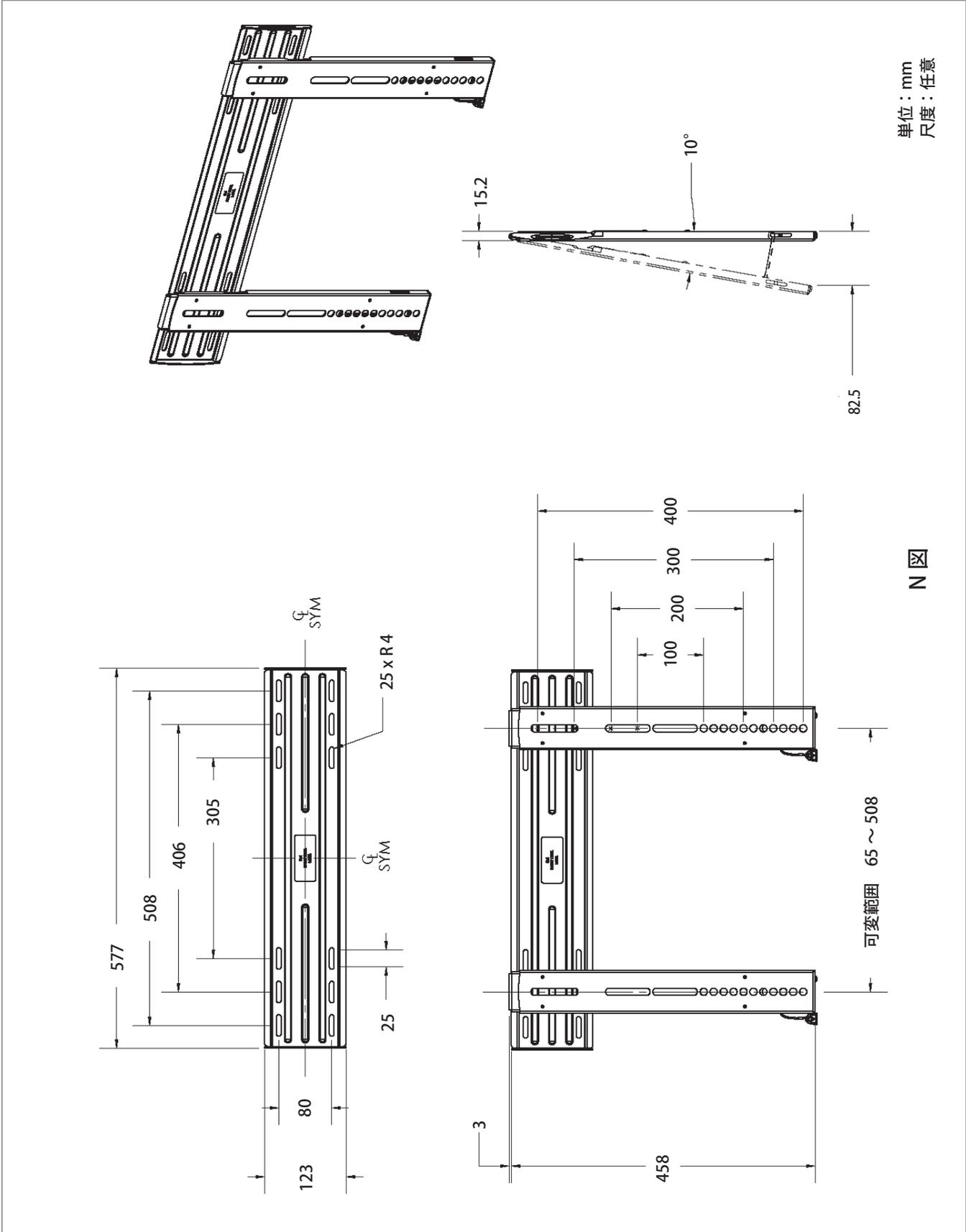
- (1) 薄型テレビの水平度は、モニターブラケットに取り付いているネジを廻して調整します。
調整用のネジの取付場所は、(2図)に示すモニターブラケットの下部にあります。
詳細は、(2図)に示す位置のネジを六角レンチで締めたり、緩めたりして水平調整します。
- (2) 例えば、左右一方のモニターブラケットを時計方向に廻して、他方のモニターブラケットを反時計方向に回すと最大の水平の傾き調整が可能となります。



L 図



5. ML11 外観図



単位: mm
尺度: 任意

Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ
 〒 559-0031 大阪市住之江区南港東 1 丁目 2 - 1 6
 ネットワークジャパン株式会社 TEL: 06-6612-2008 FAX: 06-6612-2050
<http://www.network-jpn.com/> E-mail: info@network-jpn.com